

代表者会議【当日資料 1－1】

別紙 5

報告・評価シート

【報告日 令和6年12月19日】

【評価日 令和7年 1月28日】

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業者名	ソーシャルインクルーホーム茅ヶ崎円蔵				人員配置	日中			
	指定日	令和2年	3月	1日	世話人		生活支援員			
	所在地	茅ヶ崎市円蔵1-19-48					18人	7人		
	定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）		
	定員数（短期入所）	2人					7.5人	4.0人		
	共同生活住居数	1戸					夜間			
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】			世話人（夜間）		生活支援員（夜間）			
	ソーシャルインクルーホーム茅ヶ崎円蔵	10名			16人		3人			
	ソーシャルインクルーホーム茅ヶ崎円蔵	10名			（常勤換算後）		（常勤換算後）			
	短期入所 茅ヶ崎円蔵	2名			2.8人		0.4人			
2 利用者状況 (令和6年12月19日現在)	種別	人数	内訳							
	身体障がい	2人	区分6 2人、区分5 0人、区分4 0人 区分3 0人、区分2 0人、区分1 0人 (うち車椅子利用 2人・医療的ケア要 0人・GH内で日中を過ごす 0人)							
	知的障がい	7人	区分6 1人、区分5 1人、区分4 5人 区分3 0人、区分2 0人、区分1 0人 (うち車椅子利用 0人・GH内で日中を過ごす 0人)							
	精神障がい	10人	区分6 2人、区分5 2人、区分4 4人 区分3 2人、区分2 0人、区分1 0人 (うち高次脳機能障がい 人・その他 人、GH内で日中を過ごす5人)							
	難病等	1人	区分6 0人、区分5 0人、区分4 0人 区分3 1人、区分2 0人、区分1 0人 (GH内で日中を過ごす 0人)							
	合計	20人								
	区分1，2の利用者がいる場合	※具体的な状態（なぜ日中サービス支援型を利用しているのか）を記載してください。								
	直近1年間の入退去状況	入居者 1人 (R6.8.13入居) 退去者 1人 退去者の入居期間 (R2.6.25～R6.7.18)								
	支給決定市町村	GH所在市町村 12人				GH所在市町村外 8人				
	取得加算状況	医療連携体制加算・人員配置体制加算・夜勤職員加配加算								

# 代表者会議【当日資料 1－1】

別紙 5

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>食事：食材は外部業者と契約をし、栄養士にて作成された献立をもとに食材がホームへ届き、毎食職員が調理している。ご利用者様によって極刻み、ペーストの発注も対応している。</p> <p>※他のご利用者様と調理を分ける対応はしていないが、食事介助は対応可能。</p> <p>排泄：ホーム内は1フロアー4か所トイレを設置 内一か所は、車いすでも入りやすい設備としている。 おむつ介助も含め対応している。</p> <p>入浴：1フロアー2か所設置しており、内一か所はシャワーリフト浴を完備。 介助によって支援が異なるため、毎日の入浴に対応できない場合もあるため、 入居前に相談している。 余暇活動の一環として散歩・室内体操や脳トレプリント・ぬり絵。ゲームなどの実施。</p>	
	<p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 15人</p>	
	<p>生活介護を9名、ディサービスを利用している。さらに地域活動センターに2名、就労B型に2名通っている。1名一般就労している。</p>	
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>余暇活動：GHでは障がい特性、対応、支援もそれぞれ異なる。 日常生活を送る上で、平等な支援提供を実施。 外出したい方は、ヘルパーを利用している方もいる。ホームでの買い物同行や、職員が付き添い近隣への散歩、受診同行を実施。 全員での参加は不可能なので、個々の生活ペースに合わせた、過ごし方を提供している。 季節に応じて初詣やお花見、クリスマス会などのイベントレクリエーションを催した。各月、利用者様のお誕生日には入居者様全員でお祝いするなど実施した。</p>	
	<p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p>	
	<p>今年も体験利用はなかったが、入居希望のご利用者様すべて体験が可能である。（空室がなかったため）</p>	

5 支援体制の確保について	・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		
	利用者10名に対し世話人2人（生活支援員を含む）人員配置している。		
	・夜間支援の具体的内容		
	夜間も10名に対し、世話人2人体制を取っている。		
6 地域に開かれた運営について	・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。		
	ご家族様（後見人様含む）との交流は随時おこなっている。通院時にも日頃の様子など電話やメール、あるいは書面にてお伝えし、コミュニケーションを図っており、必要に応じて担当者会議を随時開催している。		
	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		
	受け入れ人数	実 習 生： 0 人 ボランティア： 0 人	
	現状はおこなえていないが、ご利用者様の障がい特性の認識を理解していただければ、是非受け入れをしたい。		
7 利用者の健康管理について	・医療機関との連携はどのようにしているか。		
	定期受診の通院同行や突発的な体調不良による受診同行を職員で対応している体制がある。 生活状況などの共有を含め主治医との連携を図っている。 月1回、内科・皮膚科クリニックの訪問診療（希望者）を利用している。歯科の訪問診療も利用している。 看護師の訪問については、訪問看護事業所と業務委託契約し、月2回の定期訪問や健康観察および24時間のオンコール体制を取っている。 日々の健康チェックは、毎朝の体温・血圧チェックをホーム職員にて行っている。		
8 短期入所の併設について	・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。		
	各相談事業所や社会福祉協議会からのご依頼を受けている。		
	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		
		緊急なことがあれば、是非に対応していきたいが ご入居されているご利用者様との関係性を保つことができれば対応していきたい。	
9 感染症対策、業務継続計画について	業務継続計画（自然災害発生時における業務継続計画と感染症発生時における業務継続計画）を作成した。さらに定期的な研修として年2回の研修を全職員実施している。5類移行後もそれまでと同様、手指消毒・マスク着用など継続実施している。		
10 虐待防止対策	R6.1.29におこなった虐待防止委員会では管理者・サビ管・生活支援員が参加。セルフチェックシートを活用し、全職員の虐待に関する意識向上を図った。 虐待防止委員会は1/29・7/22におこない、職員本人が無意識に取っている言動が虐待と捉えられる可能性を十分考慮し、職員がお互いが声かけあって注意していくことを話し合った。		

# 代表者会議【当日資料 1－1】

別紙 5

11 非常災害対策	R6.3.15日中を想定した避難訓練をR6.9.23は夜間を想定しての避難訓練をおこなった。懐中電灯やヘルメットなど災害時の備品についての確認もおこなった。非常用トイレの使用方法や非常食・飲料水などの使用期限の確認もおこない、補充などもおこなった。	
12 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	相談支援事業所（市外含む）からはホーム見学の依頼や短期入所希望の方々の依頼を受けている。また随時、ご利用者様の状況により、計画相談員・主治医や訪問看護ステーションとともに連携を図っている。	
13 自己評価	今年で開設 5 年目となり、ご利用者様も加齢により身辺の状況に様々な変化がおこっている。そのため、支援内容の見直しや環境整備が頻繁になっているが、きちんと対応している。 これからもご利用者様、ご家族様が安心・安全に生活できるように支援し、 地域で困っている方も積極的に短期入居で受け入れていきたい。☑	